

平成 28 年度 杉循環器科内科 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について\(厚生労働省\)](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
3. [初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の ICD10 別患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
7. [その他\(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率\)](#)

年齢階級別退院患者数[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分 0～ 10～ 20～ 30～ 40～ 50～ 60～ 70～ 80～ 90～

患者数 0 1 3 4 27 70 201 320 464 237

平成 28 年度に当院を退院された患者さん 1, 327 名を 10 歳刻みの年齢階級別に集計しております。

全体の 92%が 60 歳以上、77%が 70 歳以上の患者さんとなっております。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)[ファイルをダウンロード](#)

循環器内科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患 者 用 パス
050050xx 99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 11 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	135	3.63	3.06	0.00	69.71	
050130xx 99000x	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	134	21.31	17.95	30.60	85.11	
050050xx 02000xx 02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1, 2 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	127	7.59	4.71	1.57	72.76	

循環器内科の最も多い症例は、狭心症などに対する心臓カテーテル治療のための入院、および治療前後の心臓カテーテル検査のための入院となっており、全体の約 40%を占めております。

また、2 番目に多いのは心不全治療の患者さんです。心不全の患者さんは平均年齢 85.11 歳となっており、高齢である事が分かります。

腎臓内科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パ ス
110280xx 99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	39	14.36	12.84	61.54	82.95	
180040xx 99x0xx	手術・処置等の合併症 手術なし 手術・処置等 2 なし	7	2.71	10.01	42.86	78.29	

腎臓内科の最も多い症例は、慢性腎不全増悪時の精査・加療目的となっております。

平均年齢は平成 27 年度同様、高齢となっている事が分かります。

初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版 数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	0	0	0	0	0	0	1	
大腸癌	0	0	0	0	0	0	1	
乳癌	0	0	0	0	0	0	1	
肺癌	0	0	0	0	2	0	1	7
肝癌	0	0	0	0	1	0	1	7

※ 1: UICC TNM 分類, 2: 癌取扱い規約

当院での癌症例は平成 27 年度に引き続き少ない事が分かります。

当院では循環器内科・腎臓内科を中心とした治療を行っているため、癌症例に関しては他院と連携して行っております。

成人市中肺炎の重症度別患者数等[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	3	8.00	62.33
中等症	35	21.74	84.54
重症	7	31.57	83.43
超重症	3	52.67	92.33
不明	0	0.00	0.00

市中肺炎とは、在宅で日常生活を送っている人に起こる肺炎です。

軽症の患者さんは平均年齢が 62 歳ほどであるのに比べて、中等症～重症では平均年齢が 80 歳以上と

高齢になっております。また重症度が上がるごとに治療日数が長くなる傾向にあります。

脳梗塞の ICD10 別患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

ICD10	傷病名	発症日 から	患者 数	平均在院 日数	平均年 齢	転院 率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	2	9.00	86.50	33.33
		その他	1	8.00	90.00	0.00
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性) 症候群	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00	0.00
I63\$	脳梗塞	3日以内	6	22.33	79.33	27.27
		その他	5	55.60	80.20	27.27
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄, 脳 梗塞に至らなかったもの	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00	0.00
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に 至らなかったもの	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00	0.00
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00	0.00
I679	脳血管疾患, 詳細不明	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00	0.00

急性期脳梗塞の患者さんの平均年齢は、80歳前後と高齢の方が多くなっておりま
す。

また平均して20日程度の入院期間で治療とリハビリを行い、自宅もしくは施設退院と
なっております。

診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで) [ファイルをダウンロー
ド](#)

循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	137	5.23	5.50	1.46	73.53	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞)	42	0.02	19.48	2.38	67.81	
K5972	ペースメーカー移植術(経静脈電極)	26	6.96	15.15	3.85	77.38	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症)	20	0.30	17.50	10.00	71.45	
K5463	経皮的冠動脈形成術(その他)	8	3.13	3.00	0.00	74.25	

循環器内科では、狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患に対する経皮的冠動脈ステント留置術という心臓カテーテル治療の

患者さんが多くなっております。

また高齢化に伴い、房室ブロックや洞不全症候群などの徐脈をきたす患者さんが増えており、ペースメーカー植え込み術を行う症例は増加しております。

腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	17	0.41	2.88	5.88	79.53	

腎臓内科では、平成 27 年度に引き続き透析患者さんのシャントに対する経皮的シャント拡張術が多くなっております。

その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180010	敗血症	同一	1	0.08
		異なる	2	0.15
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180040	手術・処置等の合併症	同一	24	1.81
		異なる	0	0.00

手術・処置等の合併症の症例が平成 27 年度と比較して半減しております。

これは、透析治療入院やシャント拡張入院が減少した影響と考えられます。

更新履歴